協働でつくる活き生き しほろ
広報 しほろ
2013 No.633 8

町民プールがオープン 久しぶりの水の感触を楽しむ！

６月14日に町民プールがオープンしました。オープンを待ちわびていた子どもたちは、早速、友だちと水をかけあったりしながら、楽しんでいました。

また、６月29日からの土・日曜日を利用し、幼児・小学生（低学年）を対象とした初心者向け水泳教室が開催されました。同教室は例年好評を得ており、今年も町内の子どもたち約80名が参加しました。子どもたちは、クラスごとにコーチより指導を受け、水しぶきと歓声をあげながら、久しぶりの水の感触を存分に楽しんでいました。

自主防災組織で安全・安心な地域づくりを目指して！

１．自主防災組織の必要性

近年、全国各地で発生している地震、台風、豪雨などの災害をきっかけに、「安全で安心な暮らしの大切さ」があらためて認識され、地域での防災に対する関心が高まっています。

過去に発生した阪神・淡路大震災や東日本大震災などでは、生き埋めにされたり建物等に閉じ込められた方の多くが自力または家族や隣人によって救出されています。

大規模な災害が発生した直後は、防災機関による対応が困難なこともあり、地域住民がお互い助け合い、人命救助や初期消火などを行うことで被害をより少なくすることに繋がります。

士幌町においても、地震などの災害が発生した場合、家屋の倒壊、道路の寸断、断水や電力の供給停止、火災の発生など二次災害が予測されます。被害の軽減を図るため、自主的な防災活動として、火災発生防止や被災者の救出救援、避難誘導など、地域住民による組織的な防災活動が求められます。

特に、「災害時要援護者」(乳幼児、高齢者、障がい者、妊婦、在住外国人などの災害弱者)への救援・救護が重要となってきます。

被害を最小限にするため、みなさんがお互いに協力し、安全に取り組むことが大切です。

※自主防災組織とは？

自主防災組織とは、住民一人ひとりが「自らの命は自ら守る」そして、「自らの地域は自ら守る」という考え方にたって、自主的に防災活動を行う組織のことを言います。

自治会、町内会、青年団、婦人会などの地域組織を生かして結成されるのが一般的です。

２．自主防災組織の活動

災害が発生した直後、消防署などの防災機関が駆けつけるまでの初期の段階、自主防災組織の役割としては、次のようなことが考えられます。

①地域住民が安全に避難するための誘導
②乳幼児、高齢者、障がい者、妊婦、在住外国人などの災害弱者への援助
③地域住民の安否確認および被害状況の確認・報告
④簡単な工具を使用しての救出や負傷者の救護
⑤火災の発生防止や初期消火
⑥役場、消防署など防災機関との情報交換

３．自主防災組織への支援

町では、自主防災組織への支援を下記のとおり行っています。詳しくは担当までお問い合わせください。

●まちづくり協働推進事業

自主防災組織が行う防災活動事業に助成をしています。

問い合わせ先：総務企画課企画グループ(☎５－５２１２)

●初期消火訓練や救急救命講習会

専用の機材で火災を発生させ、実際に消化器を使用した消火訓練や、各種の救命救急講習会を開催しています。

問い合わせ先：士幌消防署(☎５－２３２３)

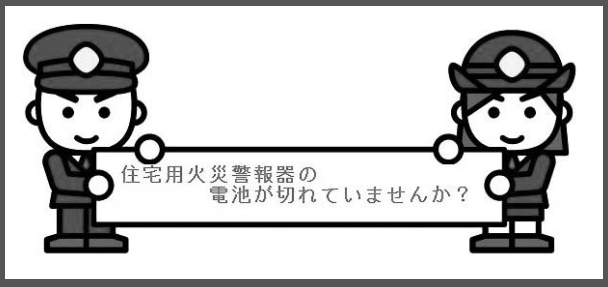
●見守りネットワーク事業

社会福祉協議会が中心となり、民生委員などと連携し、災害時の弱者対策に視点を置いた本事業の取り組みを進めています。

問い合わせ先：社会福祉協議会(☎５－２００８)

「消すまでは、心の警報　ONのまま」

火災から「命」を守るために!!



住宅用火災警報器の普及に伴い、電池切れ等による警報音を火災と間違い消防への問い合わせが多くなることが予測されます。

火災警報器はいざというときに効果を発揮するものですが、長く取り付けていれば、家電用品と同じように故障や交換が必要となることもあります。

実際に火災が起きたときに、きちんと警報されるよう、日頃からお手入れをしておきましょう。

住宅用火災警報器のお手入れ3つのポイント

①定期的に点検しましょう。

定期的（1ヵ月に1度が目安です。）に、火災警報器が作動するかどうか、テストしてみましょう。また、長期に家を留守にしたときも、火災警報器が正常に動くかテストしましょう。点検方法は、本体のひもを引くものや、ボタンを押して点検できるもの等、機種によって異なりますから、取扱説明書を見て点検方法を確認しておきましょう。

②10年をめどに、交換が必要です。

火災警報器の交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか「ピー」という音などで交換時期を知らせます。そのめどがおおむね10年です。詳しくは取扱説明書を確認してください。

③乾電池タイプは交換を忘れずに。

乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検のときに「電池切れかな?」と思ったら、早めに交換することをおすすめします。また、電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。

◎火災警報器が鳴ったら?

火災警報器は、火災の火元から出る煙や熱に反応して火災が起きていることを知らせるものです。「火災警報器を取り付けて、これでうちの防火対策は万全」本当にそうでしょうか?実際に火災警報器が鳴ったら、どう動けばよいでしょう?次のマニュアルを参考にしてください。

［誤報確認］

もし誤報であれば、警報音を止めて、家庭内や近隣に火災が起きていないことを知らせましょう。

［行動1］

火災警報器の鳴っている付近で、実際に火災が起きているかを確認します。

［行動2］

発見が早く、火炎が天井に燃え移っていなければ、初期消火が可能ですので備えておいた消火器で消火します。

また、高齢者など、運動能力に自信のない方は、とにかく「火事だ!」と叫んで、外に避難してください。もし、消火中に天井まで火炎が届くようになってきたら、消火器での消火は難しくなります。すぐに避難するようにしましょう。無事避難することができたら、消防署（119番）へ電話をしましょう。

［通報内容］

住所、何が燃えているか、けが人や逃げ遅れた人がいるか、目標となる建物などを消防署に伝えましょう。

家庭で火災から命を守るために、警報器が鳴ったときに必要な行動や避難方法、避難経路についてもよく確認しておきましょう。

※設置場所

詳しい設置場所については、士幌町ホームページの「暮らしの出来事」→「消防・救急」→「住宅用火災警報器について」にも掲載されていますし、消防署予防係（☎5－2323）にお問い合わせください。

災害に備えて消防訓練を実施しましょう!!

火災は、いつ、どこで発生するか予測ができません。火災発生の危険は、ちょっとした気の緩みや不注意、放火など、全ての建物に常に存在します。火災は初期の対応がとても大切で、被害を最小限に抑えるには、建物内にいる居住者の方や従業員の方が、落ち着いて適切な判断と行動をとることが大切です。

人間は突発的な災害に遭遇するとパニックに陥りやすいものです。そのためにも、訓練は大切です。

もし、災害が発生しても、落ち着いて行動できるよう、繰り返し訓練を実施することが、万が一のときに役に立ちます。災害が起きてからでは、すでに手遅れです。

消防法では、一定規模以上の防火対象物の防火管理者は、消防計画に基づく自衛消防訓練(消火訓練・通報訓練・避難訓練・総合訓練)を実施しなければならないとされており、また、不特定多数の者が利用する建物(劇場・百貨店・病院・飲食店・旅館等)については、消火訓練および避難訓練を年2回以上実施しなければならないと定められています。実施前には、あらかじめ、その旨を消防機関に通報しなければならないとされています。士幌消防署では、消防機関への事前通報様式を定めていますので、必要事項を記入し、提出してください。

また、その他事業所、集合住宅、町内会等の地域住民の方による消防訓練も受け付けておりますので、事前に申し込みをしてください。消防署員による訓練指導を依頼する場合も事前に申し込みをしてください。詳しくは消防署予防係にお問い合わせください。

【自衛消防訓練とは】

自衛消防訓練は「通報訓練」、「消火訓練」、「避難訓練」と、これらを一連で実施する「総合訓練」に分けられます。それぞれの訓練の概要については、下記のとおりです。

通報訓練

(1)通報訓練

○電話などの通報装置、放送設備等の位置と取り扱い要領の確認

○１１９番通報要領の確認(通報の仕方と、通報すべき内容)

○想定に基づく模擬１１９番通報、館内連絡

※通報の際は、住所、燃えているもの、けが人、逃げ遅れがいるかなど消防署員の質問に、落ち着いて答えてください！

消火訓練

(2)消火訓練

○消火設備・器具の位置と使用方法の確認

○消火設備・器具の実使用

※初期消火の勝負どころは、一般的に火がついてから約５分(火が天井に燃え移るまでの時間)です。火が天井の高さまで大きくなったら、消火器では対応できないので、逃げることが必要です。日頃から消火器の使用方法を確認しておきましょう！

避難訓練

（３）避難訓練

〇避難設備、警報設備・器具の位置と使用方法の確認
〇想定に基づく避難指示・誘導と避難
〇避難後の確認（避難人数・未避難者・負傷者数等）

※災害はいつ発生するか誰にも予想できません。訓練をせずに、実際の災害ではスムーズに皆が避難することは難しいです。避難経路、避難方法を確認するためにも、定期的に避難訓練を実施しましょう！

士幌消防署では自衛消防訓練のほかに、「防火ＤＶＤ」、「煙体験」、「天ぷら油火災実験」も受け付けています。また、子ども用防火服も用意していますので、消防隊員の気分を味わうこともできます。なお、小学生以下に限り、消火体験をした際には記念品をお渡ししています。

火災時の煙を想定した疑似体験

実際に天ぷら油を発火させた火災実験

子どもたちに大人気のちびまる号

君も今日から消防隊員（子ども用防火服）

初めて訓練を実施する、全員がそろわない、時間的余裕がない、大掛かりな準備が必要なのでは？訓練の方法がわからないなどの理由で訓練が困難な場合は、一度、消防署にご相談ください。

住宅用火災警報器・消防訓練についてのお問い合わせは士幌消防署予防係（☎５－２３２３）までご連絡ください。

茶の間 まちの動き

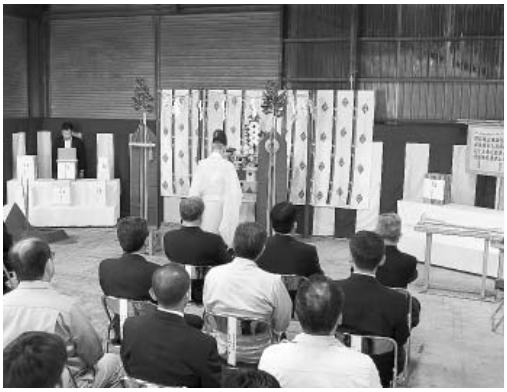
エネルギーの地産地消で地域の活性化を
中士幌太陽光発電所建設工事安全祈願祭

6月21日、町が建設する「士幌町発祥の地中士幌太陽光発電所」（中士幌旧採石所跡地）の建設工事安全祈願祭に関係者約30人が出席し執り行われました。

小林町長が「くわ入れ」、施工者代表の加藤邦彦氏（加藤電気工業株式会社社長）が「すき入れ」を行い、建設工事の安全を祈願しました。

自治体が主体となって太陽光発電事業を行うのは、道内では札幌市のみで、管内では初めての取り組みとなります。

総事業費は約4億2千万円。約3ヘクタールの敷地に3952枚（988キロワット）の太陽光パネルを設置。発電規模は年間で一般家庭210世帯分に相当する約120万キロワットを見込んでおり、町内企業4社で構成する共同企業体が建設にあたり年内で施設工事を完了、来年1月からの売電を予定しています。発電した電気はすべて売却し、売電収入による利益を今後、町の省エネルギー対策や環境対策などへ活用していきます。



工事の安全を祈願する町および工事関係者

太陽光発電所建設地（中士幌旧採石所跡地）

歩いて健康づくり
ウォーキング事業表彰

6月27日、町が生活習慣病予防と健康づくりを目的に推進しているウォーキング事業の表彰式が行われ、昨年度に最も長い時間ウォーキングをされた方上位3名が表彰され、小林町長より賞状と国保病院のがん検診等の無料クーポン券が贈呈されました。

式終了後は、ウォーキング講習会と実技指導を受け、すこやかロードを歩きました。

ウォーキング事業上位者は次のとおりです。

1位 山口クニ子さん（士幌南一区）
378時間10分

2位 坂田ひさのさん（高徳）
232時間18分

3位 上面　恭子さん（共成）
226時間30分

目指せ！全国への切符
全道陸上大会での活躍誓う

7月4日、全国小学生陸上競技交流大会予選会（函館市）に出場する小学生12名が教育委員会を訪れ、全道大会での活躍を誓いました。12名は、十勝管内で行われた各大会で上位入賞や同大会参加標準記録を突破して全道大会の出場権を獲得しました。

児童たちは、全道大会での目標や抱負を一人ひとり力強く述べ、堀江教育長より「最後まで全力でがんばってください。よい結果を楽しみにしています」と児童にエールを送りました。

日頃の訓練の成果を披露
士幌消防団消防演習

6月30日、農村運動公園において、士幌消防団による消防演習が行われました。通常点検、小隊訓練に続き、被害を最小限に食い止めるための実践的な訓練として、ポンプ車操法訓練、一斉放水が披露されました。演習終了後は、地域に密着した消防団活動に対する取り組みが評価され、消防長官ほか2団体からの団体表彰、長年団員として功績のあった個人表彰が行われました。《敬称略》

演習本部の指示を受け迅速に対応する団員たち

団体表彰

●消防長官表彰

（消防団等地域活動表彰）

●日本消防協会優良消防団表彰

（竿頭綬）

●北海道消防協会十勝地方支部

無火災消防団表彰

日頃の消防団活動が認められ、初の日本消防協会優良消防団表彰を受賞

個人表彰

【日本消防協会定例表彰】

●勤続章（30年）

田村　誠悟（第二分団部長）

【北十勝消防事務組合管理者表彰】

●感謝状（勤続年数44年11ヵ月）

北出　淳一（元第一分団副分団長）

●永年勤続表彰（30年）

田村　誠悟（第二分団部長）

【士幌消防団長表彰】

●勤続表彰（10年）

矢野　裕司（第二分団団員）

●精勤表彰

末永　秀雄（第一分団副分団長）
西部　秀樹（第一分団部長）
谷本　仁志（第一分団部長）
本田　光一（本団部長）
酒井　信明（第一分団班長）
矢野　雅樹（第二分団班長）
船戸　勝博（第一分団団員）
小林　利将（第二分団団員）

第23回 参議院議員通常選挙開票結果

7月21日、町内8投票所において参議院議員通常選挙が行われました。選挙当日の士幌町の有権者数は5,346人、投票率は63.71％となり、前回の投票率69.75％と比較し、6.04ポイント下回る結果となりました。

同日午後8時からは、総合研修センターふれあいホールで即日開票が行われ、選挙区は同日午後9時30分、比例は同日午後11時40分にそれぞれの候補者、政党などの得票数が確定しました。士幌町においての各候補者および政党等の得票数は下記のとおりです。

選挙区　開票結果

小川勝也（民主党）	805票
森山よしのり（幸福実現党）	50票
だて忠一（自由民主党）	1,242票
森つねと（日本共産党）	374票
安住たかのぶ（みんなの党）	192票
あさの貴博（新党大地）	552票

比例代表　開票結果

みんなの党	124.142票
民主党	541.338票
新党大地	495.967票
社会民主党	27票
生活の党	13票
みどりの風	24.230票
自由民主党	1,146.239票
日本共産党	395票
公明党	358.032票
緑の党グリーンズジャパン	11票
日本維新の会	131.047票
幸福実現党	9票

町内小学校陸上大会の結果

７月３日、陸上競技場で町内８小学校の全児童が集い、陸上大会が開催されました。
子どもたちはこの日のために一生懸命練習し、各種目で元気にがんばっていました。
結果は下記のとおりです。

400mリレー　（敬称略）

１部(男子)	１位	士幌Ａ	福田　哲稀・小椋　唯史・國井　俊祐・前田　悠汰
	２位	士幌Ｃ	篠原　令穏・大岩　遥登・杵渕　友輝・足立　歩夢
	３位	士幌Ｂ	廣長　渓斗・石川　侑輝・菅野　竜馬・籠瀬　祥晃
１部(女子)	１位	士幌Ａ	鳴海　優愛・鳴海　聖愛・鴨川　真奈・若原　楽
	２位	中士幌Ａ	澤村　愛花・甲山　怜・中波明日香・髙木　沙彩
	３位	士幌Ｃ	平塚　瀬菜・富田　杏・加藤　花音・川口　あい

男子　《敬称略》

１年生	60m	１位	小野寺　昴（上居辺）	２位	入澤　蒼空（中士幌）	３位	橋本　蓮（士幌）
２年生			阿木　古郎・富田　壮（中士幌・士幌）				三井耕史朗（士幌）
３年生	100m		福田　哲稀（士幌）		篠原　令穏（士幌）		廣長　渓斗（士幌）
４年生			小椋　唯史（士幌）		入澤　璃空（中士幌）		石川　侑輝（士幌）
５年生			菅野　竜馬（士幌）		森　優馬（士幌）		水野　晴斗（士幌）
６年生			高橋　大生（新田）		前田　悠汰（士幌）		籠瀬　祥晃（士幌）
１年生	400m		小野寺　昴（上居辺）		坂本　頼武（上居辺）		船戸　類（士幌）
２年生			吉川　幸汰（士幌）		佐藤　美翔（中士幌）		三井耕史朗（士幌）
３年生	800m		廣長　渓斗（士幌）		大藪　慈生（士幌）		高橋　佳佑（士幌）
４年生			岡部　光太（士幌）		伊田　竜也（士幌）		小椋　唯史（士幌）
５年生	1000m		三塚　大成（新田）		杵淵　友輝（士幌）		菅野　竜馬（士幌）
６年生			佐藤　駿也（士幌）		高橋　大生（新田）		廣長　汰一（士幌）
５年生	走り幅跳び		森　優馬（士幌）		杵淵　友輝（士幌）		仲野　晃平（士幌）
６年生			籠瀬　祥晃（士幌）		前田　悠汰（士幌）		樋山　歩（士幌）
５年生	走り高跳び		國井　俊佑（士幌）		河部　海斗（士幌）		川崎　湧翔（士幌）
６年生			大口翔太郎（士幌）		廣長　汰一・鈴木渉太郎（士幌・士幌）		
５年生	ボール投げ		三塚　大成（新田）		渡邊　寛太（士幌）	３位	兼山　湧伍（士幌）
６年生			足立　歩夢（士幌）		長尾　慶伍（士幌）		中尾　響（士幌）

女子　《敬称略》

１年生	60m	１位	力石唯千夏（中士幌）	２位	川村　愛結（西上音更）	３位	東井　咲詠（西上音更）
２年生			國井　麻耶（士幌）		森本　悠月（佐倉）		木原　楓香（士幌）
３年生	100m		澤村　愛花（中士幌）		鳴海　優愛（士幌）		高橋　美生（新田）
４年生			坂本きらり（上居辺）		佐藤　遥菜（上居辺）		鳴海　聖愛（士幌）
５年生			中波明日香（中士幌）		宮野　凜音（下居辺）		鴨川　真奈（士幌）
６年生			佐藤　綾香（上居辺）		堀江　来美（士幌）		川口　あい（士幌）
１年生	400m		松村　沙音（中士幌）		力石唯千夏（中士幌）		川村　愛結（西上音更）
２年生			國井　麻耶（士幌）		奥秋　智佳（西上音更）		森本　悠月（佐倉）
３年生	800m		高橋　美生（新田）		鳴海　優愛（士幌）		平塚　瀬菜（士幌）
４年生			小野寺日菜（上居辺）		佐藤　遥菜（上居辺）		坂本きらり（上居辺）
５年生			山下　真央（佐倉）		進士　羽奈（士幌）		門眞　莉奈（中士幌）
６年生			若原　楽（士幌）		佐藤　綾香（上居辺）		髙木　沙彩（中士幌）
５年生	走り幅跳び		宮野　凜音（下居辺）		山下　真央（佐倉）		中波明日香（中士幌）
６年生			長瀬萌々香（士幌）		久我　優衣（中士幌）		後藤　琉愛（中士幌）
５年生	走り高跳び		鈴木　姫七（士幌）		門眞　莉奈（中士幌）		
６年生			若原　楽（士幌）		吉田奈菜弥（上居辺）		長瀬あやめ(北) 松原　彩花(中) 川口　あい(士) 岡部　真奈(士)
５年生	ボール投げ		東井わかな（西上音更）		野々村友香（士幌）		吉川　七海（士幌）
６年生			髙木　沙彩（中士幌） 大会新記録		熊谷　綾乃（士幌）		尾崎　玲菜（士幌）

町長日誌 Vol.128

～農作物作況～

５月の低温で心配されていた作況でありますが、その後適宜に雨をはさみながら順調に回復。馬鈴薯の玉数が少ないなどがあるものの、概ね良好であります。スタートした小麦の収穫をはじめ、順調に推移して豊穣の出来秋が迎えられますように……

“農作業事故が起きないよう、くれぐれも注意を！”

～順調に推移しますように～

子育て体験

一昨年の３．11東日本大震災をきっかけに、妻が里親登録(士幌町で３名登録)をしていたことから、２月26日～７月７日(131日間)にかけ、生まれたばかりの男の子をお預かりし、30年ぶりに“子育て”を体験しました。得がたい体験をし､｢子どもって本当にいいな｣と実感するとともに、子どもを大人がそして社会がしっかりと守り育ててやらなければとの思いを改めて……

この子が｢みんなに愛されて、健やかに育って、幸せになりますよう｣にと願って

主なスケジュール

7月	
７月１日	†十勝圏活性化推進期成会（十勝総合振興局要請）
２日	†課長会議、環境政策・行政改革推進本部会議 †士幌高校振興会総会出席
３～４日	†水土里ネット（土地連）中央要請 東京都
６日	†上居辺地区家族慰安会
７日	†第62回十勝女性大会出席
８日	†国保運営委員会
９日	†行政改革推進委員会
10日	†シルバー交通安全の集い・演芸発表会 †北十勝４町議会議員ＰＧ大会挨拶
10～12日	†十勝圏活性化推進期成会（札幌・東京要請）
13日	†加藤議員を囲む会出席
14日	†池本道議ＰＧ交流会 †「黎明塾」閉講記念講演会 ～平成11年に開講され、２期にわたり34名の塾生を輩出したが､この度閉講にあたり｢士幌町の町づくり｣をテーマに講演するとともに交流。士幌町の町づくりのリーダーとして奮闘してもらいたい。
15日	†中士幌地区慰安会
16日	†シートベルト着用推進旗並み作戦参加
18～19日	†北海道市町村交流セミナーなど　札幌市
19日	†「食と農」連携グループ全国交流会 in とかち出席 ～全国から450人が参加しての熱気あふれるイベント。農業青年が中小企業同友会のメンバーとして積極的に活動。本町「さくら工房」マネージャーの北出 愛さんも活躍していました。
22日	†十勝圏複合事務組合臨時会
27日	†札幌士幌会総会 札幌市
30日	†北十勝４町町長・議長意見交換会 上士幌町

人の動き

6,497人(－20)　男3,125人(＋１)　女3,372人(－21)　世帯2,688(＋35)

※６月末現在(　)は前年比

美濃のまちから

1歳児に木のおもちゃを贈る「ウッドスタート事業」でアユ形の積み木が選ばれました

長良川を遡上するアユをイメージした積み木「つみあゆ」を考案した花井さん

１歳児に木のおもちゃをプレゼントする「ウッドスタート事業」の審査会が開かれ、岐阜県立森林文化アカデミーで学ぶ花井雄規さんが作ったアユ形の積み木「つみあゆ」が選ばれました。

これは、幼い頃から木のぬくもりに親しむ「木育」の取り組みで、昨年から公募で選ばれたおもちゃを無料配布しています。

６人の応募の中から選ばれた花井さんの作品は、ヒノキの間伐材を使用した積み木で、長良川に住むアユをモチーフに仕上げました。

「つみあゆ」は、改良を重ね、来年４月以降に配布されます。

特養ホームで「ふれあい夏まつり」

6月29日、特別養護老人ホーム「ほほえみ」で「ふれあい夏まつり」が開催されました。

当日は、朝から青空が広がる好天に恵まれ、会場では家族会や職員、民生児童委員などのボランティアによる焼きそばやフランクフルトなど、たくさんの出店が立ち並んだほか、ヨーヨー釣りなどのゲームも用意されました。

余興では、入居者がスイカ割りに挑戦。心地よいリズムによる優美なフラダンスも披露され、楽しいひとときを過ごしました。

地域の絆を大切に「ふれあいまつり」

6月30日、「大通西常会ふれあいまつり」が本光寺会館で開催されました。同まつりは、町からの「パートナーシップ事業」を活用し、「地域のふれあい」を目的に行われています。

まつりの前には、子どもたちも参加しての清掃活動や、地域住民への健康相談会、ふまねっと教室が行われました。

まつりでは、「しほろ牛」の焼き肉やハンバーグ、野菜たっぷりな焼きそばなどがふるまわれ、豪華景品が当たる大抽選会で盛り上がり、地域のふれあいを深めるお祭りとなりました。

多彩なイベント盛りだくさん！「しほろっち夏祭り花火大会」

7月6日、「第33回しほろっち夏祭り花火大会」（町商工会青年部主管）がコミュニティ広場で開催。町内外から大勢の人が訪れ、ステージイベントや士幌産の食材を使用した料理などを楽しみました。

ステージイベントではテレビで「明石家さんま」さんのネタでおなじみの「ほいけんた」さんが出演。巧みなトークや有名芸能人の物まねを披露するなど観客の笑いを誘い、会場では、士幌産の大麦を使用した地ビールや焼き鳥など多くの売店が立ち並び、しほろ牛のステーキなど各売店には長い行列ができるほどの大盛況でした。

また、今年は初めて「流しそうめん」が出店され、子どもたちは、流れてくるそうめんをすくい、笑顔で頬張っていました。

夜には、十勝管内で最も早い花火大会が開催。音楽に合わせ打ち上げられた色鮮やかな花火は夏の夜空を華やかに彩り、観客から大きな歓声と拍手が送られていました。

大事に育てた花を福祉村にプレゼント

7月5日、法務省の「人権の花運動」で育てた花を認定こども園「なかよし」の園児が福祉村の施設へ贈りました。

同運動は花を育てることで、人権や思いやりの心を育てるのが目的で、園児たちは5月下旬に同園で花植えを行い、大切に育ててきました。

この日は、特養ホームなどの施設に年長組40人が訪れ園児の代表が入居者に花をプレゼント。受け取った入居者は園児たちに「きれいな花をありがとう」と感謝の言葉を述べていました。

「十勝女性大会」を開催 災害時の役割を学ぶ

7月7日、総合研修センターで「第62回十勝女性大会」が開催されました。

1市6町から参加した約200人が「防災意識を高めて、安心安全のまちづくりのために」をテーマに災害時における女性の役割などを学びました。

「LPガスの災害時対応について」と題した講演では「ガスの元栓は使わないときは閉める」など日頃からの災害時の準備の大切さを強調。また、東日本大震災の派遣活動について、自衛隊職員より当時の切迫した状況や災害に対する意識などについて説明を受けました。

幼年消防クラブ 防火フェスティバル

7月11日、士幌消防署で幼年消防防火フェスティバルが開催され、下居辺・上居辺・佐倉地区の保育所園児約50名が参加しました。

楽しく防火意識を高めてもらおうと、毎年、参加対象の保育所を変えながら行っており、園児たちは、小さな防火服に身を包み、勢いよく出る水に驚きながらも、的を目掛けての放水体験や煙の中を歩く体験に挑戦しました。また同署が軽ワゴン車を改造したミニ消防車「ちびまる号」にも試乗して消防士気分を味わいました。

最後に園児全員で「火遊びは絶対しません」と「防火の誓い」を元気に述べ、楽しく学べた防火体験になりました。

懐かしい名曲を披露！ 士幌歌謡同好会が特養慰問

7月11日、士幌歌謡同好会(寺町隆男会長)の会員10名が特別養護老人ホーム「ほほえみ」を訪れ、歌謡ショーを行いました。

同会は毎年、特養ホームなどの福祉施設を慰問。この日は約50人の入居者が集まり、会員らは「津軽慕情」や「人生いろいろ」などの名曲を披露しました。

入所者たちはリズムにあわせて手拍子をしたり、メロディを懐かしそうに口ずさみながら、楽しい時間を過ごしました。

寺町会長は「少しでも喜んでもらえれば」と話していました。

健康・イキイキ・ライフ

「高齢者の歩行補助つえ・歩行器の選び方」

健康介護グループ　鳴海　佑

足元が弱くなった方を支えてくれるつえや、歩行のリハビリにもよく使われる歩行器は、歩く力を維持・強化するのに有効です。ここでは歩行補助具を選ぶときのポイントをご紹介します。歩行補助つえ・歩行器などの移動支援用具は安全かつ適切な選定によりご本人の活動意欲が高まり、社会参加するなど生活範囲の拡大につながります。

安全な移動のための選定ポイント
- ●ご本人の体の動きにあわせること
- ●無理せず、目的や使用環境に応じて他の移動形態を工夫すること

使用環境による注意のポイント
- ●敷居や段差には乗り越え操作
- ●屋内では通行幅や旋回スペースなど
- ●出入り口では扉の形状とその操作など

安全に暮らし、目的活動をいきいきと行うためには、車いすを含めいくつかの移動形態を目的や環境によって使い分けましょう。
移動は、安全でいつでもできる方法の選択が基本です。

歩行補助つえ・歩行器の選定によって
- ●歩行時の安定性を高めます
- ●歩行時のスピードを高めます
- ●歩行時の疲れを減らします
- ●歩行時の痛みを軽減します

では、実際に何を使用すればよいのか？

例えば「歩く事が大変になった…。ふらついて歩く事が不安…」

●転倒の危険性がある、１人で外出ができなくなった方は

身体状況により、様々な歩行補助具や環境を整える方法があります。介護認定を受け、介護保険の貸与(レンタル)を利用できる可能性もあります。

「購入したが使えない…」とならない為に、まずは総合福祉センター介護相談窓口(地域包括支援センター)に相談してみましょう。介護認定を受けている方は担当のケアマネジャーに相談してみましょう。

●まだ、1人で外出できる、少しつかまれば大丈夫という方は

代表的な物で**シルバーカー・１本杖**があります。ホームセンター等で購入できますが、適切なサイズや用途によって違いがあります。

歩行補助具等に関するお問い合わせは
総合福祉センター内　保健福祉課健康介護グループ(☎５－２１０８)まで

受けて安心！エキノコックス症検診

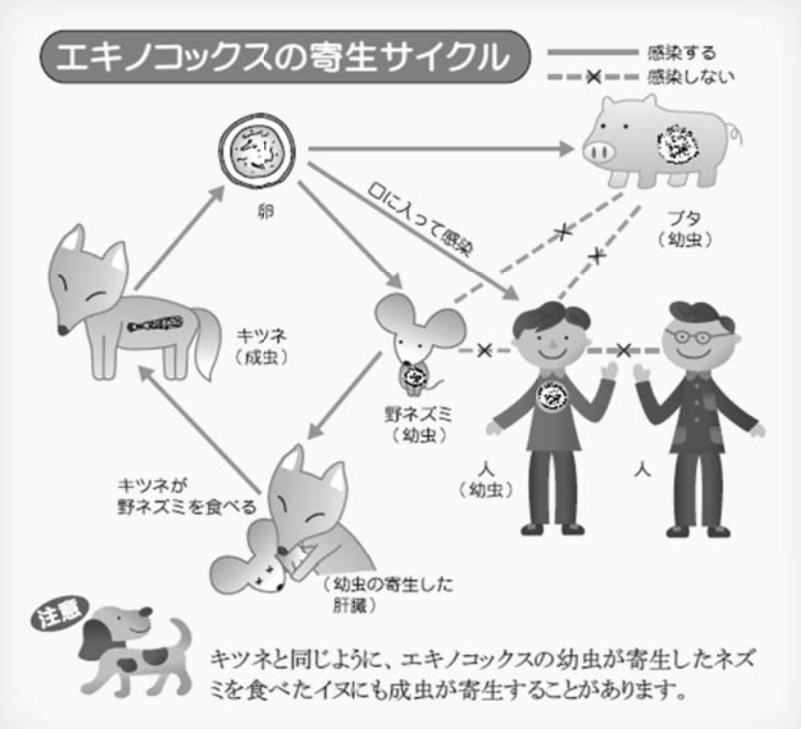
エキノコックス症という病気は、エキノコックスという名前の寄生虫が主に肝臓に寄生しておこる病気で、道内でも患者が見つかっています。

自然界においては、主にキツネと野ネズミに寄生しています。私たち人間は、エキノコックスの卵が寄生したキツネの糞に汚染された山菜や沢水などを直接口にしたり、卵が付着した手指を介して感染して、幼虫が肝臓に寄生します。人から人へ感染することはありませんが犬もキツネと同様に、エキノコックスに感染した野ネズミを食べることにより、エキノコックスの成虫が寄生しますので、犬を飼っている方は飼い犬からの感染に注意が必要です。

エキノコックス症は薬による治療もありますが、根本的な治療は手術で病巣を切除することです。その場合も、早い時期の手術ほど完全な治癒が可能となりますので早期発見と早期治療が大切です。

士幌町でもキツネが生息しています。下記に該当する方は、知らないうちにエキノコックス症に感染している場合があります。採血のみの検査でエキノコックス症に感染しているか判定できますので、ぜひ検査を受けることをお勧めします。

●犬を飼っている家族の方　●山菜採りや仕事で山に入る方　●山菜が好きで食べている方
●キャンプをする方　●芝生や草原で遊ぶ子どもたち　など



平成25年８月９日（金曜日）下記の施設でエキノコックス症検診を実施します。

＊新田地区公民館　＊北中地区公民館　＊西上地区公民館　＊総合福祉センター
（13:00～13:30）　（14:00～14:30）　（15:00～15:30）　（16:00～16:30）

対 象 者：小学校３年生以上の町民
料　　金：小学校３年生から中学３年生は無料です。高校生以上は自己負担300円です。
検査内容：血液検査のみ（結果は後日郵送でお知らせします。）
申し込み：８月６日までに保健福祉課介護グループへ電話で申し込みください。

エキノコックス症検診に関するお問い合わせは
総合福祉センター内　保健福祉課健康介護グループ（☎５－２１０８）まで

細菌による食中毒について

士幌町国民健康保険病院　臨床検査科

食中毒とは、有害・有毒な微生物や化学物質等毒素を含む水や飲食物を口から摂取した結果として起こる下痢や嘔吐、発熱などの疾病（中毒）の総称です。種類として、微生物を原因とする食中毒（細菌、ウイルス)、化学物質を原因とする食中毒（ヒスタミン、洗剤、農薬)、自然毒を原因とする食中毒（毒キノコ、じゃがいもの芽、フグ毒）に大別されます。

夏になると高温多湿になり最も食中毒の発生件数が多くなります。そのほとんどは細菌性食中毒です。細菌の種類により食中毒を起こす原因が異なり、毒素型食中毒、感染型食中毒、中間型食中毒に分類されます。

【毒素型食中毒】
細菌が増殖して生産される毒素によって発症する。そのため細菌が死滅しても毒素がある限り発症する。(例)黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌

【感染型食中毒】
細菌自体が消化管内で増殖することによって発症する。そのため細菌数が少なくても発症することがある。(例）腸炎ビブリオ菌、サルモネラ属菌、カンピロバクター菌、病原性大腸菌（O-157）

【中間型食中毒】
細菌が消化管内で増殖する際に初めて毒素を生産し、毒素型と感染型の中間に位置する。(例）ウエルシュ菌、セレウス菌、赤痢菌、病原性大腸菌（注：腸内での増殖、毒素産生を持つことからここに分類する人もいる）

上記の中で、特に注意が必要な細菌について簡単に説明します。

【サルモネラ属菌】（感染型）
潜伏期～10時間から72時間。症状～発熱、粘血便、腹痛など。生息場所～家畜、ニワトリの腸管内。(卵の殻はもちろん、中身も汚染されている可能性がある。ペットに付着している場合がある。

【腸炎ビブリオ】（感染型）
潜伏期～５時間から20時間。症状～下痢、腹痛、発熱など。
生息場所～海、海産魚介類には間違いなく付着していると思っていいです。

【黄色ブドウ球菌】（毒素型）
潜伏期～約３時間と症状が出るのが速い。症状～嘔吐、下痢、腹痛など。
生息場所～人体表面。(皮膚、鼻咽頭など)
注）毒素（エンテロトキシン）は耐熱性が有り、調理加熱程度では不活化（毒性が消えない）できない。

【ボツリヌス菌】（毒素型）
潜伏期～10時間から40時間　症状～神経障害、嚥下障害（物が飲み込みずらくなる)、呼吸障害。(結構、危険な症状です。）生息場所～土壌。
注）嫌気性菌（空気の無い場所を好む）なので缶詰や真空パックの中でも増殖する。いずれも注意が必要で毒素は加熱により不活化します。

【病原性大腸菌】（感染、毒素型）
潜伏期～２日から９日。症状～血便、腹痛、溶血性尿毒症症候群。生息場所～動物などの腸管内。

食中毒を予防する三大原則があります。「付けない」「増やさない」「やっつける」です。「清潔な状態を保つ」「速く冷蔵する」「過熱する」を守れば、ある程度防ぐことかできるのではないでしょうか。

安全・環境だより

町内の事故発生状況

死亡事故は昨年の5月11日から発生しておりませんが、負傷者を伴う事故は多数発生しています。

事故のほとんどが車対車の出会い頭の事故で、免許取得年数が10年以上のドライバーだったということが分かっています。

慣れた道でも油断せず、法令順守で安全運転を心がけましょう！

平成25年１～６月交通事故発生状況

月別発生件数	１月	２月	３月	４月	５月	６月
件数	1	1	2	0	0	0
傷者数	1	1	5	0	0	0

時間別発生状況	６～８時	16～18時
件数	1	3
傷者数	1	6

当事者の法令違反別発生状況	前方不注意	前左右不確認	安全速度	不明
件数	1	1	1	1
傷者数	1	3	2	1

当事者ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの年齢層別発生状況	30歳代	50歳代	80歳以上	ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ以外
件数	1	1	1	1
傷者数	2	1	3	1

水の事故に注意！

本格的な夏到来のこの時期、水の事故に対する認識をあらためて持ちましょう。

▼晴れの日も注意！子どもの死亡事故が最も多い「河川」

最も多く水死事故が発生している場所は「海」。しかし、中学生以下の子どもに限っては「河川」が最も多くなっています。

河川は、たとえ晴れていても、前日までの長雨の影響で水流の勢いが増したり、急に増水したりすることもあります。上流で雨が降っている場合も同様です。一見おだやかに見える浅瀬でも、増水が続いた後は川底が削られて深くなっていることもあります。

○ひとりで、また子どもだけで川に行かない。

○雨が降っている日や、前日に雨が降った日などは川に近づかない。

○子どもだけで水際に近づいたり、水に入って遊んだりしない。

○水が増えている、濁っている、流れてくるものが多いなど、いつもと様子が違うときはすぐに離れる。

川、海などでは常に子どもの行動に注意しましょう。

▼大人の油断から子どもが水難事故にあうことも

【大人の役目】

○事前に遊びに行く場所の情報入手や気象情報を把握しておく。

○現地では、立て看板を確認するなど、川の特徴や注意事項を子どもにもよく話して聞かせる。

○現地でも、川の様子や天候には常に注意を払い、状況によってはすぐ引き上げるなど、早めに対処することを心がける。

子どもの水難事故は水遊び中に多く起きています。水に入っていなくても、足を滑らせて転落して事故にあうケースも多いようです。水辺の危険を正しく理解し、楽しい夏を過ごしましょう。

ごみの搬出について ～最近の傾向より～

汚れているから等、の理由で資源にできる物も不燃ごみとして搬出される傾向が増えてきています。不燃ごみの埋め立て場所は無限ではありません。今一度いつものごみ出しを見直しましょう。

また、食べ物の包装プラや飲み物の缶、ペットボトルなどが入ったレジ袋などのごみが不法投棄され、町内パトロールで多数拾っています。

「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に皆さんのご協力をお願いします。

今月のごみ指数

単位：kg

	平成25年6月分	前年同期	増　減
燃やせるごみ	79,370	70,340	12.8%
燃やせないごみ	24,380	16,880	44.4%
合　　計	103,750	87,220	19.0%
町民1人当たりのごみの量	6,497人 16.0	6,518人 13.4	
資源ごみ	73,108	77,990	△6.3%
有価物販売額(円)	533,442	956,214	△44.2%

ごみに関するお問い合わせは、
役場町民課住民生活グループ（町民課直通☎⑤5214）までお願いします。

士幌町教育委員会

教育の窓

1学期頑張った！ 待ち望んだ夏休みに

新学期が始まった4月からおよそ3ヵ月半が経過して1学期が終了しました。今、学校は子どもたちが待ち望んでいた楽しい夏休みに入っています。

小学校に入学した1年生は、毎日の学校生活や運動会、遠足等の行事を通して短期間に心も体も頭もたくましく成長しましたが、それはただ多くのことを経験したからではなく、いろいろなことを自分の頭で考え、心で感じ、体で行動してきたからこその成長でした。それだけ1日1日を精一杯頑張ってきた1学期だったということだろうと思います。

今進行中の夏休みも、子ども一人ひとりにとって確かな成長の期間でありたいですね。学校生活では経験できないことや長い休みだからできることをたくさん経験し、心に残る思い出を作って、更に成長するステップにしてほしいと思いますが、そのためには、学校での生活と同じように、夏休みの間も頭や心や体をたくさん使って、賢さやたくましさを増す期間であってほしいものです。

夏休みの子どもたちの生活は、以前と比べると大きく様変わりしてきました。特に、灼熱（しゃくねつ）の太陽の下、真っ黒になって日が暮れるまで外で元気に遊ぶ姿があまり見られなくなったのは寂しい気がしますが、今の子どもたちにはどんな夏が訪れているのでしょうか。

今の時代にはそれなりの過ごし方があるのでしょうが、夏はやっぱり健康的で、たくましく日焼けした子どもたちの元気な顔を見たいと思うのが正直なところです。

危機への対応は 後手に回らない！

6月末、札幌市の小学校で、給食に出たプラムの種を喉に詰まらせ呼吸困難に陥って死亡した小学生の痛ましい事故は、私たちに多くのことを考えさせます。

その一つは、本町の対応はこれまでどうであったかということですが、学校給食センターでは、種のある果物は近年使用しておらず、今後も使用する考えはないということを聞いています。

二つめは、小さなお子さんがいる家庭では、種のある果物を食べる時には改めて十分な注意が必要で、お子さんから目を離さないことが大事なことだと思います。

もう一つは、もしもの場合の対応ですが、今回のような事故が発生した際の学校の対応については、それぞれの危機管理マニュアルを活用し、適切な措置によって対処が後手に回らないことが最も大事なことだと思います。また、家庭では、先ずは救急車を手配するなどの最善策を常に考え実行する体制を整えるべきでしょう。

〈家庭教育のポイント〉 子どものよさに目を向ける

よさに気づき、認めることは簡単なようで難しいことですが、子育てには大事なことです。

教員の経験がある人から伺った話ですが、40歳になるまでは子どもができないところや不十分なところにばかり目がいって、いつも子どもを叱ったり注意してばかりいたそうですが、40歳になって不思議なことに急に子どもが可愛いと感じるようになり、一人ひとりのよさや頑張りが目につくようになったと言うのです。そうなると、子どもの頑張りを自然に褒めるようになり、子どもは褒められることが嬉しくて更に頑張るようになったということですし、先生に褒められたいという思いからどの子もいろいろなことに一生懸命頑張るようになって、学級全体の力が飛躍的に高まったそうです。

同じことをしても叱られるのと褒められるのでは子どもの受け止め方に大きな違いがあります。頑張りを認め褒めることが子どもをその気にさせて育てることになるのは間違いのないところでしょう。

いま、士幌高校では

７月は夏らしい暑い日が続くとともに、雨も適度に降ったことから、豊作が期待できるのではと思う毎日でした。一方、７月の学校は学校祭の準備等で、暑さを忘れるような慌ただし日々を過ごしました。今月号は、学校祭前の行事等を紹介いたします。

◆足士新幕連合最終章…

春季大会の悔しい敗戦を胸に、猛練習を重ねて迎えた最後の夏。安楽主将がチームをよくまとめ、「戦う集団」になった４校連合チーム。熱い全校応援を力に変えて全力を尽くして戦いました。エース松浦の力投、得点機もありました…しかし、鹿追は強かった…。

敵同士だった４校が集まり、平日の単独練習と週末の合同練習を続けてきました。初めは心もプレーもバラバラだったメンバーでしたが、２年の年月が強い絆を結びました。この間３度の合宿と１度の北見遠征を敢行しました。悔しい敗戦もありましたが、普通のチームでは考えられない困難を乗り越え、最後の夏を前に真のチームになりました。「打たれて負けたので悔いはない。泣いて笑って楽しくやれるのが野球のいいところ。最高のチームでした。」敗戦後の安楽主将のコメントがそのことを証明していました。４校連合の熱い夏が終わりました。応援ありがとうございました。

◆全校応援もしましたが…

６月25日、全校応援を実施し、選手の健闘をたたえるべく、帯広の森野球場へ集合しました。

結果は惜しくも７回コールドで鹿追高校に２対９で敗退しましたが、生徒たちは球場内で躍動する選手たちを、高校の垣根を越えて大声で応援するという、貴重な経験をしました。

試合終了後、選手たちが応援する生徒たちの前に集合して挨拶をした時、多くの生徒が感動していました。今回の全校応援をきっかけに、学校行事で生徒たちが一つになりつつある手応えが感じられました。選手の皆さん、お疲れ様でした。

★これからの野球部は…

現在正式部員はゼロになってしまいましたが、２年生数名が秋季大会出場（他校との連合）を目標に練習を始めています。

◆デートＤＶ防止講座

６月27日、１年生を対象に、現場で活躍されている「駆け込みシェルターとかち」のスタッフの方を講師に招き、スライドでわかりやすくデートＤＶについて説明を受けました。また生徒たちにより近いテーマのロールプレイングも交え、交際相手を自分の物としてみてしまう恐ろしさや交際相手とは対等であることを含めて、男女交際でお互いを尊重することの大切さを学ぶことができました。

◆１年生２泊３日の宿泊研修

６月19日～21日に行われた宿泊研修は１日目に明治十勝チーズ館の工場見学から始まりました。チーズができる行程を実際に見ながら学べることもあってとても勉強になりました。ネイパル足寄ではコミュニケーション学習や七宝焼き体験を行い、普段話さない生徒同士でもコミュニケーションをとることができました。２日目は天候にも恵まれ、雌阿寒岳登山も行うことができました。登山では例年のコースではなく、勾配のなだらかなコースに変更になったこともあり、昨年よりも多くの生徒が登頂することができました。登山後は各班に分かれて野外炊飯を行い、カレーを作りました。班それぞれの味付けで、水っぽいカレーやプロ顔負けのカレーもあり、思い出深い野外炊飯でした。最終日の３日目は足寄動物化石博物館で館内見学とレプリカ制作を行うなどして宿泊研修を無事に終えることができました。

◆農業クラブ・リーダー研修会

６月20～21日、本校高原寮を会場に東北海道学校農業クラブ連盟リーダー研修会が開催されました。10校の東連盟の農業クラブ執行部員など合計50名が参加。研修会では、新聞づくり講演会や農業クラブ３大事業の取り組みなどについて研究討議等を行いました。研修会を通して、執行部・推進委員の役割を再認識する活動となり、どの学校の生徒にとっても有意義な研修になったようです。

◆校内技術競技大会

７月２日、農業クラブ三大事業の一つである校内技術競技大会が行われました。技術競技大会にむけて、３月頃から放課後自主的に学校に残り、学習を積んでいた生徒もいました。２年生や３年生は、勉強の成果を発揮するために集中して問題に挑んでいました。入賞者は、８月９日に美幌高等学校で行われる東北海道技術競技大会（情報処理競技は７月21日実施）に出場します。全国大会出場目指して健闘をしてほしいと思います。

★士幌高校一日体験入学の実施

９月20日（金）に一日体験入学を実施しますので、中学３年生または保護者の方は是非参加してください。なお、昼食は、自分たちで製造した物を食べられますので不要です。詳細は本校ＨＰをご覧ください。

町民文芸

俳句

・麦秋の十勝一円重くなる
佐藤　吟秋

・束の間に重ねし齢麦の秋
浅野　香春

・すっぽりと家囲まるる麦の秋
樋山　裕子

・流れ来る古典音楽麦の秋
和田　節女

・コンバイン深夜も動く麦の秋
星屋　徳峰

短歌

十勝野も芋が花咲き麦は黄金色
美しさにたたずむ
白木美恵子

長男は、還暦迎え目立つ皺
不肖私は八十路眞最中
村田　達子

洗い髪に程よく触れる若葉風
暮色薄れて想い出に逢いたい
石井美恵子

華麗なる空の大輪弾けてる
夏の夜の夢人のひと世も
谷本　幸枝

もこもこと出ずるほだ木をとつおいつ
眺めまわして椎茸狩りに
小川　季代

住む人いぬ廃屋のまわりルピナスらは
今を盛りと咲きほこりいる
清水さよ子

この佳き日焼肉パーティ高原で
姪の結婚祝う親族
紺野　光男

バトンタッチ

「子ども達の笑顔が大好きです！」

士幌南旭区
出村（でむら）　郁江（いくえ）さん

プロフィール
義祖父、義祖母、義父、義母、夫、長女、長男の8人家族
趣味　ショッピング、美容

郁江さんは帯広市出身。札幌の美容専門学校を卒業後、美容部員として働き、7年前に農家をされてるご主人と結婚して士幌町へ。現在は農業のお手伝いと子育てに奮闘されています。

慣れない仕事に苦労しながらも「普段は、なかなか見ることができない種を撒いて、芽が出て、それが成長していく姿を見ることができるのが農業の素晴らしいところですね。子ども達にとって、食べ物ができる過程を身近に感じてもらうことができ、とてもいい教育になっていると思います」と笑顔で語ってくださいました。

時間ができた時には、5歳の娘と3歳になる息子と買い物に行ったり、自宅の庭で子ども達のミニコンサートを見ることが楽しいとのこと。

「子ども達が大きくなったら家族みんなでバリ島へ行きたいですね」と夢を語ってくれた郁江さん。是非夢を叶えて欲しいですね。

次回は、高徳の西山早苗さんにバトンタッチ。郁江さんから早苗さんへ一言。

「西山さんの行動力、いつもすごいと思っています。これからも仲良くして下さい!!」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

謎の図鑑（阿部和厚）／恐竜（真鍋真）／鳴く虫の科学（高嶋清明）／あたしいえでしたことあるよ（かべやふよう）／かぶと３兄弟－五十郎・六十郎・七十郎の巻－（宮西達也）／ぼくはねんちょうさん（田中六大）／としょかんねずみ３（ダニエル・カーク）／おーいおひさま！（西村敏雄）／スズムシくん（廣野研一）／いしのはなし（シルビア・ロング）

【一般書】

バスを待って（石田千）／てのひらに爆弾を（黒武洋）／ドミノ倒し（貫井徳郎）／「正社員」の研究（小倉一哉）／ＮＨＫ中学生・高校生の生活と意識調査２０１２（ＮＨＫ放送文化研究所）／メルトダウン連鎖の真相（ＮＨＫスペシャル『メルトダウン』取材班）／ふわふわシフォンケーキ（津田陽子）

★ちきゅうがウンチだらけにならないわけ（松岡達英）

生きものがみんな、あちらこちらでウンチをしたら、地球はウンチだらけになってしまうのでは？誰もが一度は心配したことがあるこの問題を通して、自然界でのウンチの役割を解説します。

★入浴の事典（阿岸祐幸）

からだに無理なく安全に行うために知っておきたい入浴の基本、正しい入浴法・間違った入浴法、入浴中にできる簡単な運動、からだにトラブルがある時の入浴などについて解説します。

★★今月の休館日★★ 6、13、20、27日
※休館日は、毎週火曜日です。

夏休みだー!! としょかんにあそびにいこう!

図書館では「夏休み図書館何回来たかなカード」を用意しています。夏休みの間に図書館に来るとシール（１日１枚）を貼ります。たくさん図書館に来てシールを集めて本と仲良しになってください。

●配布対象

未就学児、（小学生は各小学校より配布されています。）忘れた場合は図書館で用意しています。

★善意に感謝します★

寄付・寄贈

▼協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業
伊賀　文雄さん（共成）　10万円
高橋　広樹さん（清澄）　10万円

▼みんなで支えあう福祉のまちづくりに関する事業
北海道はまなす会　６５，８８８円
輔田　等さん（中士幌新南）　10万円

《特別養護老人ホームへ》
しほろ調剤薬局　お茶ほか
西上老人クラブ　テッシュ
聖教寺　石けん
士幌歌謡同好会　タオル

★おくやみ★

輔田ハツエさん（97歳）中士幌新南
六車　浪子さん（85歳）新　栄
川岸美恵子さん（77歳）中士幌東団地
大滝　ナヲさん（84歳）高　徳
三島　君さん（89歳）特　老

★お誕生★

與佐田太一（たいち）ちゃん（6月22日生）　崇（たかし）さん　邦世（くによ）さん　中士幌新南

（7月15日受付分まで）

広報 しほろ 2013.8 通刊 第633号
ふれ愛ユートピア

暮らしのカレンダー 8月

ひにち	行事予定	場所
1 木	☆①10:00～②13:00～　わくわくの日 10:00～11:30　脳晴れば れ教室	中児 保セ
2 金	☆10:00～　ひよこちゃんの日	中児
3 土		
4 日		
5 月	9:00～11:30　妊産婦・一般健康相談 ☆9:30～11:30　ちびっこ広場 ☆10:00～　はじめましての日 10:30～11:30　スマイル教室 19:30頃～　ホタル観賞会（～８月11日まで）	福セ 認定こ 中児 保セ 朝陽
6 火	9:30～　老人・障がい者合同大運動会 ☆①10:00～②13:00～　わくわくの日 13:15～13:45受付　四種混合予防接種 13:15～13:45受付　三種混合予防接種 13:15～13:45受付　不活化ポリオ予防接種	士幌小 中児 国保 国保 国保
7 水	☆10:00～　のびのびの日 10:00～10:10受付　むし歯予防教室	認定こ 保セ
8 木	☆①10:00～②13:00～ わくわくの日（プール） 10:00～10:10受付　もぐもぐ教室 10:00～11:30　脳晴れば れ教室	中児 保セ 保セ
9 金	☆10:00～　わんぱくの日 13:15～13:45受付　四種混合予防接種 13:15～13:45受付　三種混合予防接種 13:15～13:45受付　不活化ポリオ予防接種 13:00～13:30　エキノコックス症検診 14:00～14:30　〃 15:00～15:30　〃 16:00～16:30　〃	認定こ 国保 国保 国保 新田 北中 西上 福セ
10 土		
11 日		
12 月	9:00～11:30　妊産婦・一般健康相談 ☆9:30～11:30　ちびっこ広場	福セ 認定こ
13 火	☆①10:00～②13:00～　わくわくの日 10:00～11:30 口腔機能向上および低栄養予防教室	中児 保セ
14 水		
15 木	10:00～11:30　脳晴れば れ教室	保セ
16 金	10:00～11:30　おひさまの日	認定こ
17 土		
18 日	10:00～　しほろ７０００人のまつり	コミュ
19 月	9:00～11:30　妊産婦・一般健康相談 ☆9:30～11:30　ちびっこ広場	福セ 認定こ
20 火	☆10:00～　わくわくの日 ☆10:00～11:30　キッズ・クラブ 10:00～11:30 口腔機能向上および低栄養予防教室 13:10～13:30受付　乳児健診 18:00～　仮装盆踊り大会	中児 認定こ 保セ 保セ 西２線
21 水	☆10:00～　のびのびの日 13:15～13:45受付　四種混合予防接種 13:15～13:45受付　三種混合予防接種 13:15～13:45受付　不活化ポリオ予防接種	認定こ 国保 国保 国保
22 木	☆①10:00～②13:00～ わくわくの日（英語で遊ぼう） 10:00～11:30　脳晴れば れ教室	中児 保セ
23 金	☆10:00～　いくちゃんとあそぼう	中児
24 土		
25 日		
26 月	9:00～11:30　妊産婦・一般健康相談 ☆9:30～11:30　ちびっこ広場 ☆10:00～　かぼちゃの日 13:00～13:30受付　麻疹風疹予防接種 13:00～13:30受付　BCG 予防接種	福セ 認定こ 北中 保セ 保セ
27 火	☆①10:00～②13:00～ わくわくの日（プール） 10:00～11:30 口腔機能向上および低栄養予防教室	中児 保セ
28 水	☆10:00～　のびのびの日	認定こ
29 木	9:00～11:30　赤ちゃん相談 ☆10:00～　ふりーさろんの日 10:00～11:30　脳晴れば れ教室	保セ 中児 保セ
30 金	☆10:00～　わくわくの日 13:15～13:45受付　四種混合予防接種 13:15～13:45受付　三種混合予防接種 13:15～13:45受付　不活化ポリオ予防接種	中児 国保 国保 国保
31 土		

【凡　例】

保セ→保健センター
福セ→総合福祉センター
中児→中士幌児童ステーション
認定こ→認定こども園施設内
国保→国保病院
新田→新田地区公民館
西上→西上地区公民館
北中→北中地区公民館
コミュ→コミュニティ広場
士幌小→士幌小学校グランド
朝陽→朝陽公園

※町国保病院で日帰り人間ドック（毎月２日間）及び施設型特定健診（毎月４日間）を火曜日と木曜日に予定しております。予約、お問い合わせは町国保病院（TEL5-2106）まで

※子育て支援の対象は未就園児。☆印の問い合わせ、子育ての相談は士幌町子育て支援センター（TEL7-4102 FAX7-4447）・認定こども園（TEL5-2502 FAX5-2508）まで

発行　士幌町
編集　総務企画課 企画グループ

〒080-1200　北海道河東郡士幌町字士幌225番地
企画グループ直通 ☎01564-5-5212 FAX 5-4304 HP http://www.shihoro.jp/
広報広聴担当へのＥメール kouhou@shihoro.jp